

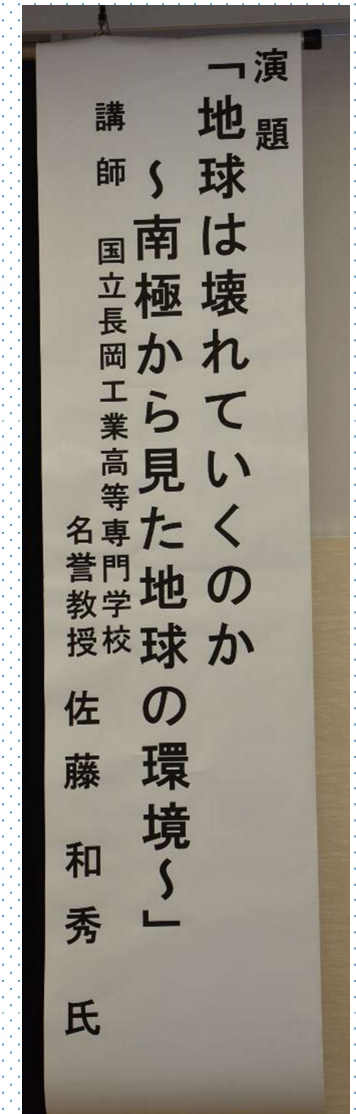
平成29年度シニアカレッジ新潟 長岡校
第2回同窓会 『講演会と懇親の集い』 報告書

平成30年3月13日(火)
アトリウム長岡



雪も消え 快晴のもと、昨年と同じ
「アトリウム長岡」で開催

1時過ぎ 2階にて受付が始まる
1年振りに懐かしい顔が次々と揃う
白鳳・天平の間にて講演会の開始



開会 13:30

司会：藤巻一美企画員（平成24年度卒業）

平成22年度から平成29年度卒業生
および在学生 合計92名の参加により始まる



司会の挨拶と
配布資料の確認
講師紹介



開会挨拶，同窓会事業の説明：貝沼正義企画員（平成22年度卒業）



シニアカレッジ新潟 事務局 片山春香

挨拶の要旨

開会の挨拶 快晴の天気です多数の参加者、盛大に開催される。
シニアカレッジに名称変更し、今年には創立30周年記念事業を
開催（12月に予定、内容はこれから随時決めていく）
毎年恒例の研修旅行もあるが大勢の人の参加をお願いします。
最後までお聞きしてください。

事務連絡：大勢の同窓生が集まり御礼

いきいき県民カレッジ受講手帳の件 説明
懇親会時の名札の説明

講演 13:40~

「地球は壊れていくのか～南極から見た地球の環境～」

講師：国立長岡工業高等専門学校

講師プロフィール 名誉教授 佐藤和秀 氏

[専門分野] 雪氷学，気象・気候学，環境学

[学歴，職歴]

昭和21年 片貝町にて出生

京都大学理学部地球物理学科卒業

京都大学大学院理学研究科地球物理学専攻博士課程修了

京都大学防災研究所調査補助員

京都大学防災研究所助手

長岡工業高等専門学校土木工学科講師，教授

長岡工業高等専門学校環境都市工学科教授

長岡工業高等専門学校退職

長岡工業高等専門学校名誉教授

南極OB会新潟支部幹事長

[研究]

第17回秩父宮記念学術賞

「ネパール・ヒマラヤの氷河と気候に関する研究」団体受賞

「南極氷床の積雪特性から見た雪氷・気候環境に関する研究」日本雪氷学会 学術賞を受賞

「中越地域における降積雪及び降水の科学特性に関する継続的な研究と教育」日本雪氷学会北信越支部 大沼賞を受賞

[海外調査研究歴]

昭和48年より平成27年の間、南極，ヒマラヤ，ノルウェー，北極域，中国大陸，南米パタゴニア，フィンランド，アラスカ マッコール氷河，中国 七一氷河，モンゴル，グリーンランド，チベット等 多数調査研究





佐藤名誉教授
の説明に熱心
に聞く同窓生





南極で使用した防寒着，防寒具類
南極の氷



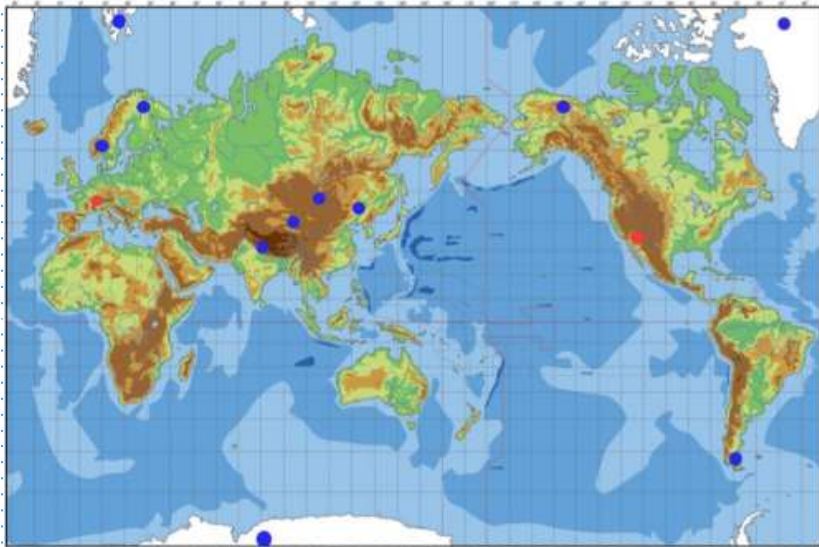
講演会資料より引用

南米アルゼンチン パタゴニアの氷河



雪と氷／氷河を訪ねて

講演会資料より引用



今までに訪れた極地等

グリーンランド氷床にかかる虹



非常に珍しい北極圏での虹をキャッチ



佐藤名誉教授の熱演

予定時間を大幅にオーバーして教授の
思いが同窓生に響く

講演会資料より引用

南極越冬観測で得たもの

地球上で生きるには

- 地球をよく知ること
(自然のしくみとその歴史)
- 人間をよく知ること
(生命のしくみとその歴史)

「地球」のひとりごと：“恐竜時代のほうが良かった！？”



みんなで地球をささえましょう

生物が地球で生きていけるかどうかは

人類の活動にかかっている



“共生”

生への畏敬
(アルバート・シュバイツァー)

“思いやり”

あらゆることが
バランスをとろうと
動いている

- 力関係、経済事情、人間関係、
経済事情、健康バランス、資源事
情、エネルギーバランス、地球環
境、宇宙の進化・分化……



南極の氷

みんなで氷が融ける時の音を聴く

地球の太古の空気が今ここにはじける



南極探検隊員募集広告

探検隊員求む。至難の旅。
わずかな報酬。極寒。暗黒の長い月日。
絶えざる危険。生還の保証無し。
成功の暁には名誉と賞賛を得る。

イギリスのロンドンの新聞に探検家のアーネスト・シャクルトン卿が1914年に出した
広告。

25

講演会資料より引用

英国調のウエットに富んだ隊員募集広告

懇親会 16:15~18:15



懇親会の受付



司会：吉野治郎（平成28年度卒業）
山井イツ子（平成28年度卒業）



貝沼企画員
懇親会開会の挨拶



乾杯の音頭は櫻井芳文
（平成26年度卒業）

各テーブルの和やかな皆さん



昨年に続き恒例のじゃんけん大会
大いに盛り上がる



チョキでどうだ!!

中締めは吉仕茂さん（平成27年度卒業）による軽妙な語りと
三々七拍子で懇親会を締める



じゃんけんでは佐藤名誉教授に
勝った人には様々な景品が与え
られた



懇親会 全体集合写真



「第二回講演会と懇親会の集い」を終えて

平成24年度長岡校卒業 地区同窓会企画員 佐野 宣夫

この企画は、長岡担当「同窓会研修旅行」の係わりが終わった12月から、事務局と長岡同窓会企画委員が、数回にわたって議論を交わした結果のものです。その「案内書」が2月に地区同窓生に送られました。

「継続は力なり」と言われていますが、昨年度に引続き今年度も開けたことは非常に意義深いことだと思います。一方、参加者数の不安面もありましたが、同窓生の熱意で、90余名の方が参加、関係一員として、感謝、感謝です。

南極観測！ 今までは、漠然と聞き流していたが、この機会で見ることが出来、地球環境の大切さを今更ながら痛感させられました。また、講師のご好意で準備された防寒服、南極の氷など、は会場を一層盛り上げたのではないのでしょうか。

懇親会は講演会の雰囲気そのまま会場に。講師と一体になって、和気あいあいと飲み、語り、ジャンケンポン大会など、人生の絆を深める時間でした。司会・進行係、ありがとうございました。

前述の通り、この活動は船出したばかりです。今後も同窓生の参加支援と結果を生かし、高齢者大学長岡校同窓会が益々発展するようお願いものです。



講演「地球は壊れていくのか～南極から見た地球の環境～」 感想文

平成27年度長岡校卒業 地区同窓会企画員 吉仕 茂

演題からして人間の経済活動に名を借りた地球資源の使い放題で壊れゆく地球への警鐘なのか？と想像しました。

南極は五番目に大きい大陸で、オーストラリアの二倍の広さを有しています。そして、どこの国の領土にも属していません（南極条約第四条・領土凍結）。

次に何故「観測するのに南極に行くのか？」という疑問に思いました。

それは、地球が出来て以来、人類が住みつき生活、活動した痕跡が無く、環境が破壊されずに創生時の状態を維持保存されている為ゆえに過去の自然状態下のデータ観測が可能であり、過去の延長線上の現在や未来がデータ解析で予測できる等の説明があり、目から鱗でした。

そして、それらの学術的内容は多数ありますが総じて地球環境学、宇宙環境学（隕石、オーロラ）など全般に対象となっていることも驚きでした。

南極は過去、現在、未来の地球環境を映し出す鏡であり、隕石、オーロラなど宇宙を覗く窓でもある。南極は未知とロマンの氷の大陸とか、南極は地球のサブシステムであり、地球環境のタイムカプセルであると力説されました。おこがましいが正にその通りかと同感しました。

講演前は「～南極から見た地球の環境～」は知識不足でテーマが大きく遠くに感じられましたが、講演を聞くにつれ かけ離れた存在でなく私たちの生活に身近に関わっているものだと実感しました。南極観測（観測データ）そのものが、私たち（人類）そして地球環境の現在と未来に示唆しておりそれを読み取り、分析していかに対策・活用・行動が出来るかが私達に問い掛けている様に感じられました。

そして演者は南極は「自然と人間の接点」についても関心を持ってきたと言っています。昔の人が知り得なかった未知の世界が次々に最先端科学技術で明らかにされ、すごい時代に生きている幸福を感じ、まだまだ魅力ある世界を沢山のぞきたいともいっている。

好きな言葉は「今が大切」、「温故知新」だそうです。

探求心、向学心の旺盛なところが伺えます。

演者のこれからの益々のご健勝と更なるご繁栄をお祈りします。



同窓会役割分担

事前準備（案内文作成，講師依頼，案内発送，名札，看板等）	: 事務局（片山）
会場交渉	: 貝沼
講演会 受付	: 川又，深井，佐野，小林，池田
司会	: 藤巻
挨拶，同窓会説明	: 貝沼
講師対応	: 佐藤
マイク，照明	: 上村
懇親会 受付	: 川又，松下，上村
司会	: 吉野，山井
挨拶	: 貝沼
乾杯	: 櫻井
じゃんけん大会	: 川又，松下
中締め	: 吉仕
写真，報告書	: 高橋（邦），丸山，長谷川

編集後記

平成29年度シニアカレッジ新潟 長岡校第二回同窓会事業の準備活動は、平成29年12月より各学年の代表者により貝沼企画員，藤巻企画員のもと、各学年の代表が計4回打合せを重ねてきました。

（12月12日，1月19日，2月9日，3月6日）

講演会参加者 92名，懇親会参加者 38名と同窓会が2回目にもかかわらず盛況でした。

これも準備して頂いた長岡地区同窓会企画員，運営委員の活動のたまものと思います。それに加えて長岡校同窓生の同窓会に対する熱い思い，期待があったからだと感じます。その熱意をこれからも3回，4回，5回・・・とつなげていくことが私たちの責務であると思います。

平成26年度卒業 長谷川 徹 2018.3.25



【参考】

平成28年度 第1回同窓会 『講演会と懇親の集い』

平成29年3月7日

講演

『シニア世代もトレーニング×
科学で健康的なからだづくり』

講師：新潟医療福祉大学 健康科学部 健康スポーツ学科
教授 佐藤 敏郎

講演会参加者：93名

懇親会参加者：49名



前回 平成28年度講演会



前回 平成28年度懇親会